



稲沢市ゆかりの頑張っている人
輝いている人もご紹介します！

笑顔で 話そう

ソングコンテストグランプリ2022

最優秀作詩賞

ごとうじゅんぞう
後藤順三さん
(下津地区 在住)



警察署からのお知らせ

稲沢警察署 ☎ 32-0110

1月10日は110番の日です

110番通報を受信する「警察本部通信指令室」は、通報に対応するだけでなく、現場の報告を集約し必要な措置を指示するなど、まさに事件解決の頭脳としての役割を担っています。この大切な役割を果たすには、皆さんのご協力が欠かせません。

緊急性のない問い合わせや事件・事故などに関する困りごとの相談は、110番通報ではなく、最寄りの警察署や警察相談専用電話「#9110」にお願いします。

次の問い合わせは最寄りの警察署へ

- 落とし物や拾い物の届出に関すること
- 更新など運転免許証に関すること
- 道路使用許可や車庫証明に関すること



いなざわふれあい通信

市政情報やイベントなどを映像でお伝えする番組を、稲沢CATV (TOP TOWER) と西尾張CATV (クローバーTV) で放送しています。

放送中の内容は市ホームページで視聴できるほか、過去の内容は秘書広報課・支所・図書館でDVDを貸し出しています。

こちらから
視聴できます



放送内容

- 1/1 ~ 15 … 稲沢市本庁舎の歴史的価値
- 1/16 ~ 31 … 楽しみいっぱい 学校給食

放送時間 (10分番組)

- 稲沢CATV…6:50、9:50、10:50、11:50、14:50、17:50、20:50、21:50
- 西尾張CATV…8:45、14:15、17:45、20:45



ほしあいめい

松田華奈

努力は嘘をつかない

■ソングコンテストグランプリ

日本作曲家協会・日本作詩家協会共同企画で毎年行われる作詩・作曲のコンテストです。2022年に行われた作詩部門には全国から1347作品の応募があり、私(活動名「ごとう順三」)が作詩した「人生ごよみ」はその中から最優秀作詩賞2作品の一つに選ばれました。

■定年を機に作詩の世界へ

カラオケ好きではありませんが、音楽などを学んだ経験はなく、定年を迎えたことを機に興味で作詩を始めました。最初は独学でしたが、もっと上達したいと考え、作詩の先生にお願いして指導をしていただきました。先生に考えた詩を見ていただく、「こんなものでは駄目だ」と厳しいことを言われることもありましたが、「今度こそは良いものを書こう」とやる気になりました。また、歌謡雑誌にも詩を投稿し批評を頂いたり、時には朝方まで詩を書き続け努力した結果、先生から「良い詩を書くようになった」と認められるようになりました。

■受賞にはびっくら

ソングコンテストグランプリでは対象歌手が発表され、作詩を行います。今回の対象歌手は山本譲二さんでしたので、「強い男」「優しい男」などのイメージで作詩を行いました。普段はなかなか自分のイメージに合った詩が書けないのですが、今回応募した「人生ごよみ」は不思議と良い詩がすぐに浮かびました。日本作詩家協会からの電話で受賞を知ったときはうれしくて夢のようでした。

■今後の目標

毎年年末に行われる日本作詩大賞に挑戦してみたいと考えています。また、最近では暗いニュースも多いですが、歌うことで皆さんの心の中に希望が湧いてくるような歌を書いていきたいと思っています。

名古屋文理大学文化フォーラム

(市民会館) ☎ 24-5111

好評発売中!

ワンコインコンサートスペシャル「音楽三昧」 ～モーツァルト編～

今回のテーマは、35年という短い生涯の間に626曲もの作品を残した作曲家モーツァルトです。

5歳で初めて作曲した曲から絶筆となった曲まで、厳選した10曲をお楽しみいただきます。



時 3月4日(土)・5日(日)

- 内 ①モーツァルトって天才!
②弦楽四重奏の魅力に迫る!
③モーツァルトの時代にタイムスリップ!
④いなっピー レインボーアンサンブル発表会

¥①1,000円②③500円④無料(全席自由)

他 1歳以上有料。1歳未満でも席が必要な場合は有料。開演時間など、詳しくはホームページで確認してください

販売場所 名古屋文理大学文化フォーラム(市民会館)、チケットぴあ(Pコード:228-755)

市民文芸 短歌

伊藤英一 選

特選
ひんがしに朝日のほりく月食を終へてかたぶくおだやかな月
丸山勝也(祖父江野野田)
仰ぎみる冬の星座はきらめけり地球の上に続く戦争
大野桂子(祖父江町江東)
入選
参拝の前の手水の冷たさは気持ち引き締め新年を呼ぶ
竹村日出子(大塚北二丁目)
冬間近山間の村は陽の入りの早くストーブの薪割り惜しむ
鈴木セツ子(日下部中町)
月食の明けし朝の月赤く宇宙の神秘に出逢えて嬉し
内笹井幸子(北島町)
吾子待つ空に今宵は十三夜月皓々とひかり輝く
堀田志津子(稲葉二丁目)
馳走など要らぬ笑顔があればよし夫が好みしうどんをする
吉田恵子(祖父江町山崎)
おいなる横の古木の倒されて挿木ひと枝明日に残す
青山雪子(西島本町)
ウクライナの小旗を揚げ園児たち小さな靴で平和の行進
吉田喜良(北島町)
片隅の小さな野菊は咲き誇り汝の人生可憐に生きる
田中佳子(梅須賀町)

丸山さん…月食を終えた後の月のおだやかな写生が大変良い。
大野さん…上空に仰ぎ見る星空はきらびやかだが、地球上にはなお戦争が続いているという悲劇が表現されている。

募集(3月号短歌 当季雑詠)

▶締切日 1月16日(月)▶応募方法 住所・氏名を記入の上、郵送(〒492-8269 住所不要)、FAX (23-1489)、Eメール(tanka@city.inazawa.aichi.jp)で秘書広報課へ ※はがき1枚につき2首まで